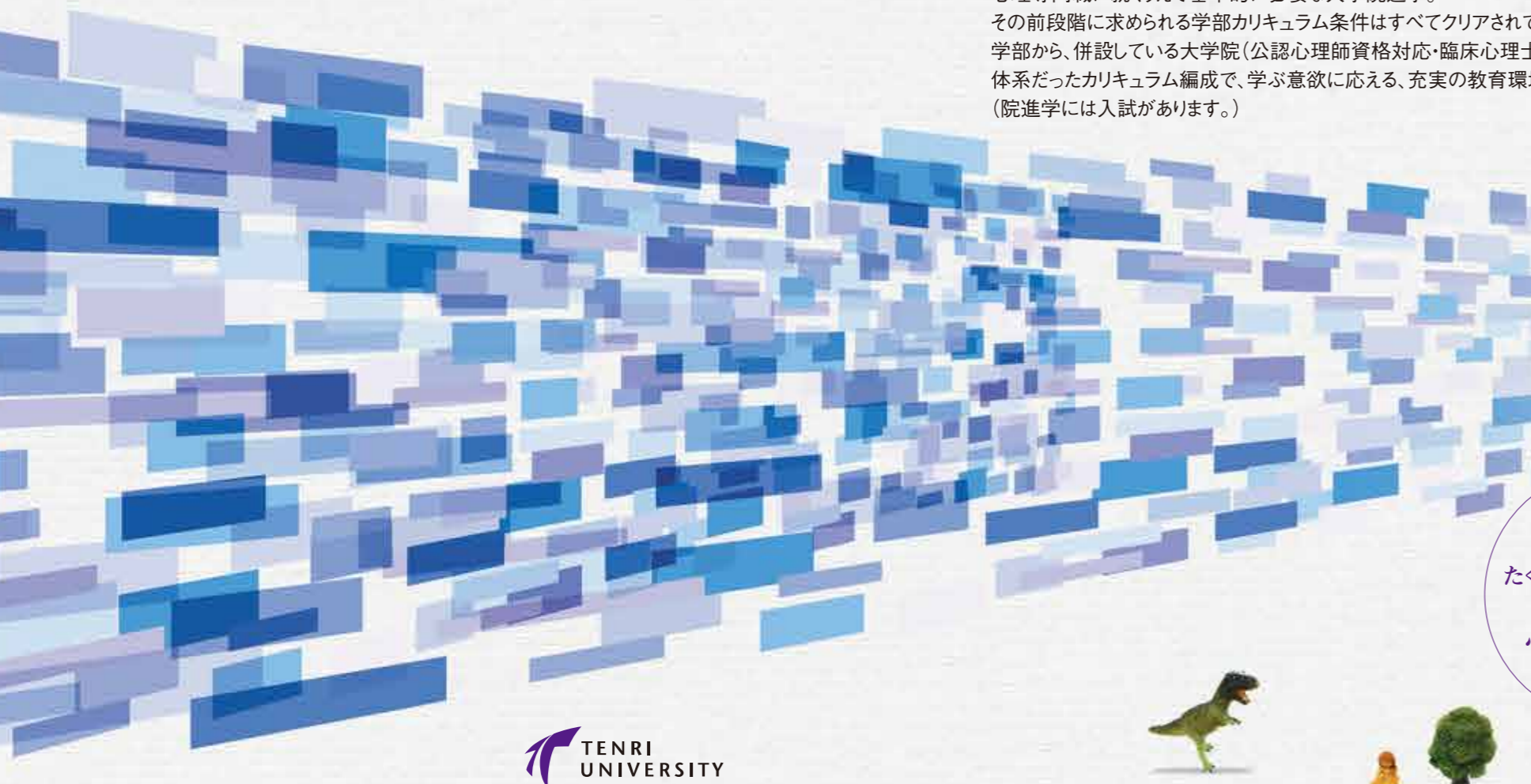


# 進路選択ガイド

## 天理大学 心理学科



## カウンセリングの場に、箱庭療法を日本で最初に導入した天理大学。

### 天理大学のカリキュラムは公認心理師資格(国家資格)に完全対応

心理専門職に就くうえで基本的に必要な大学院進学。  
その前段階に求められる学部カリキュラム条件はすべてクリアされています。  
学部から、併設している大学院(公認心理師資格対応・臨床心理士1種指定校)へと  
体系だったカリキュラム編成で、学ぶ意欲に応える、充実の教育環境が用意されています。  
(院進学には入試があります。)

6台の箱庭と  
たくさんのミニチュアが  
揃う実習室で  
心に触れる体験を  
します。



天理大学

心理学科



大学院 臨床人間学研究科





# 心

# 理

# 学

# 科



千原雅代教授



高森淳一教授



橋本尚子教授



金山元春教授



高嶋雄介教授



松井華子教授

## 天理大学の少人数制は心理学を学ぶには最適の高密度の教育環境です

心理学そのものが、人と人のかかわりを基盤とした学問であるだけに、大学で学ぶ環境がどうなっているかにも、進路を選ぶ上では注目したいところです。天理大学全体が少人数制の体制をとっていますが、心理学科の場合、6名の専任教員が各学年40名の学生の教育にあたっています。この体制は、実習や演習授業だけでなく、座って講義をうける座学の授業であってもとても重要です。臨床心理士・公認心理師としての基本的な態度を身につけるための最適の環境が整っています。人と人のかかわりがあってこそ生まれる気づきや自信は、「一生もの」といっても過言ではありません。天理大学の心理学科は、学生ひとり一人の個性を大切に、きめ細やかな指導体制をとっています。

## 心理関係のボランティア体験の場をさまざまに提供しています

天理大学の心理学科では、教育支援センター(旧 適応指導教室)での不登校児のサポートや、自宅に赴いての不登校児の話し相手、別室登校児童と共に時間を過ごす役割など、さまざまな心理関係のボランティア派遣の依頼を受けています。委託元としては、天理市をはじめ、奈良県下の各市町村教育委員会、奈良家庭裁判所、児童養護施設、ひきこもり支援NPO等があります。これらのボランティア活動によって、天理大学で学んだことを活かし、心のサポートを実際に体験し、有意義な時間を過ごすことができます。心理学科の教員が、各市町村教育委員会、奈良県教育委員会、奈良家庭裁判所、奈良県警等と連携した、人の心をサポートする地域支援事業に関わっています。これらの連携から、ボランティア活動の場の提供が可能になっています。

## 言葉以前のこころの表現を大切に 実習・演習の数々

たとえば子どもの「遊び」に秘められたこころの表現に接していくプレイセラピー(心理療法の一つ)は、座って聞くだけの授業では学べません。天理大学の心理学科では頭ではなくこころを動かすための感性を呼び覚ます体験を重視しています。実際に、絵を描いたり、粘土をこねたり、散歩をしたりして、意味がなさそうに見えるものに秘められているイメージの大切さを学べます。さらに、大人のカウンセリングにもこのような感性が生きてくることを実感する、カウンセラー役とクライアント役になって行うロールプレイプログラムも用意。さまざまな角度からこころの表現にアプローチします。

## 心理専門職に関心がなくても、自分のための 学びの機会を得られるのが天理大学心理学科です

心理学科に進学するからといって、必ず心理専門職に就かなければならないという訳ではありません。現に、心理学科から一般企業に就職する学生さんも少なくないのです。心理学科では、資格取得を目指す「資格取得志望履修モデル」と、対人スキル向上を目指す「対人社会履修モデル」との2つの履修モデルを準備しています。人が生きていくうえで、家族であれ、仕事であれ、もっとも根底にあるのは人と人とのあいだに生まれるさまざまな関係です。心理学を学んでおくことは、これからの人生を心豊かに切り開いていくうえで、役立つことは間違いありません。